

紀要

第 7 号

目 次

二つの前方後円墳(細川修平)… 1
滋賀県出土の埴輪資料集(その4)(稻垣正宏)… 27
近江へのアプローチ・その1 43
1. 高島郡の地形と条里(神保忠宏)… 44
2. 高島郡における遺跡の動態 一今津町周辺をフィールドに一	…(畠中英二)… 50
3. 高島郡の古代寺院(重岡卓)… 57
4. 高島郡の鉄生産とその周辺(大道和人)… 61
5. 高島郡の古代北陸道(内田保之)… 66
6. 高島郡にみる古代国家(細川修平)… 71
南北方位建物についての研究ノート(田井中洋介)… 77
近江京域論の再検討・予察—7世紀における近江南部地域の諸相一	…(相原嘉之)… 83
滋賀県における古代の土器様相・その1	
—湖南地域における無台杯身・かえり付き蓋の変遷を中心に一	…(畠中英二)… 104
江州農具雜想ノート(上垣幸徳)… 126
滋賀県甲賀郡土山町における藏王産花崗岩製中世石造美術の分布	
—土山町石造美術石材分布調査概要—(兼康保明)… 131
滋賀県内出土漆製品集成—後編—(中川正人)… 145

1994. 3

財団法人滋賀県文化財保護協会

滋賀県出土の埴輪資料集（その4）

稻垣正宏

埴輪資料集も4年目の今回で一応の終了ということになった。しかし、4年の間に湖南地方で新たに重要な資料がみつかるということもあり、何年か後には、補遺編が必要なことになるかもしれない。

表1 墓輪出土遺跡一覧表（湖北・湖西）

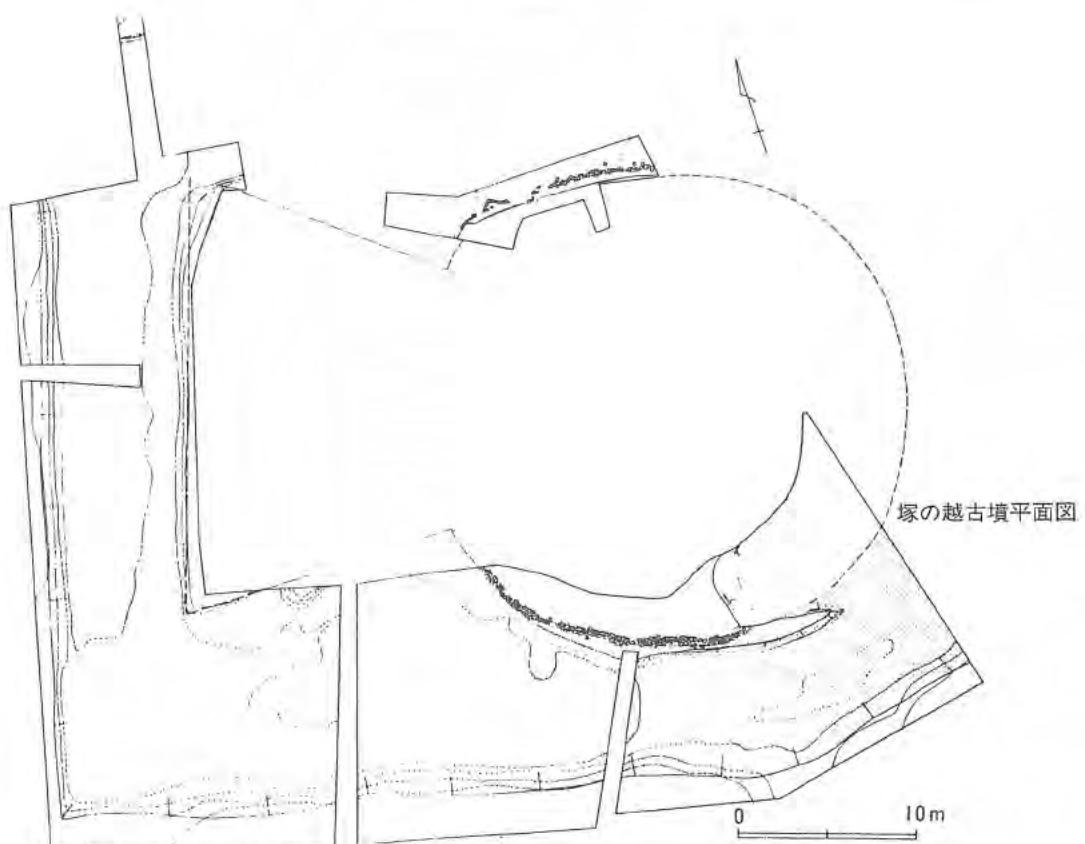
番号	遺跡名	所在地	墳形・規模・主体部・時期・埴輪の種類	出土場所	参考文献	挿図
74	大乾1号墳	米原町上多良	円筒・馬形埴輪	周濠内	「一般国道8号(米原バイパス)関連遺跡試掘調査報告書」米原町教委1989	7、8
75	狐塚遺跡1号墳	近江町高溝	円墳・直径27m・6世紀前半・円筒・朝顔・鞠・盾・家	周濠内	「一般国道(長浜バイパス)関連遺跡発掘調査報告書」県教委、1987	4、5
76	狐塚5号墳	近江町高溝	帆立貝式古墳・全長30m・6世紀前半円筒・朝顔・鞠・盾・家・人物・きぬがさ・鶴・大刀	周濠内	第6回東海埋蔵文化財研究会「断夫山とその時代」愛知考古学談話会1989、9	4
77	山津照神社古墳	近江町能登瀬	前方後円墳・横穴式石室・6世紀前半・円筒・朝顔形埴輪	周濠内	「一般国道(長浜バイパス)」IVに掲載	4
78	塚の越古墳	近江町新庄	前方後円墳・円筒・盾(石見型)形埴輪	墳丘裾部	「塚の越古墳」近江町教委1991	1、2、3
79	額戸唇1号墳	近江町額戸	円筒・5世紀後半		「西円寺遺跡」近江町教委1993	3
80	西円寺遺跡第3号墳	近江町西円寺	円墳・長径18.0m・短径17.5m・5世紀後半・円筒	周濠内	同上	3
81	弾正塚古墳	山東町大馬				
82	村居田古墳(息長広姫陵)	山東町村居田	円墳・円筒・5世紀末		「坂田郡山東町内遺跡詳細分布調査報告書」山東町教委1986	
83	茶臼山古墳	長浜市東上坂	前方後円墳・5世紀後半・円筒埴輪			
84	越前塚遺跡	長浜市加納町	埴輪円筒棺・5世紀末・円筒埴輪(2点 合わせ口)		「長浜市埋蔵文化財調査資料第6集」長浜市教委1990	12
85	越前塚S X-1	長浜市加納町	円墳・直径12.8m・5世紀末・円筒・家型埴輪	周濠内	「越前塚遺跡発掘調査報告書」長浜市教委1988	9、10
86	越前塚古墳	長浜市加納町	円墳・直径約33m・5世紀後半・円筒	周濠内	同上	11
87	布施古墳	長浜市布施町	円墳・横穴式石室			
88	堀籠(かいごめ)古墳	長浜市堀籠町	前方後円・全長50m・5世紀後半・円筒埴輪			
89	八島龟塚古墳	浅井町八島	前方後円・全長33m・6世紀・円筒埴輪			
90	八つ岩古墳	高月町西野	円墳			
91	涌出山(ゆるぎやま)古墳	高月町涌出川	円墳・直径12.4m・5世紀末・円筒(一部に線刻画)・輪郭・家形埴輪	墳頂・埴輪部	「北陸自動車道関連遺跡発掘調査報告書」滋賀県教委1982	13
92	高月南遺跡	高月町高月				
93	妙見山C-1号墳	今津町福岡	方墳・一边12.4m・6世紀前半・島、家型埴輪	周濠部	「妙見山遺跡」一般国道湖北バイパス滋賀県教委-平成2	14
94	下平古墳群(7号墳)	新旭町安井川	円墳・直径15m・円筒埴輪			
95	下平古墳群(21号墳)	新旭町安井川	円墳・直径23m・木棺直葬・6世紀中頃・円筒埴輪(一部に線刻画あり)			
96	下平古墳群(22号墳)	新旭町安井川	円墳・6世紀中頃			
97	下平古墳群(23号墳)	新旭町安井川	円墳・6世紀中頃			
98	上山遺跡	新旭町覆庭	円墳			
99	波爾布神社1号墳	新旭町覆庭	円墳・直径19m・6世紀・形象埴輪			
100	田中王冢古墳	安曇川町田中	円墳・直径58m・5世紀前半			
101	三重生城遺跡	三重生	形象埴輪			
102	音羽古墳群	高島町音羽	6世紀・円筒・形象埴輪			16
103	鶴輪荷山古墳	高島町鶴	前方後円墳・横穴式石室・6世紀前半・円筒埴輪			

追加分

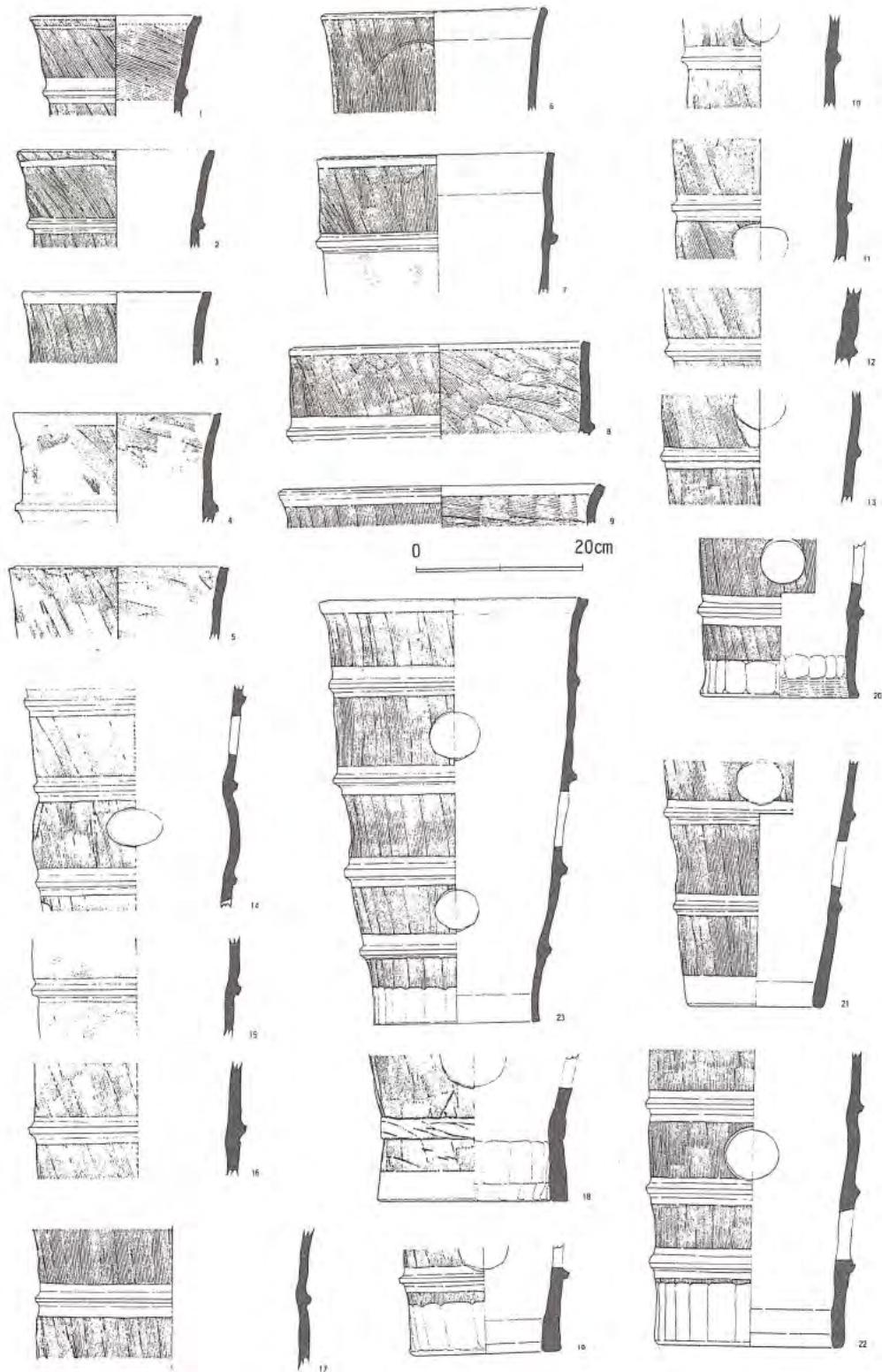
104	木の脚車塚	大津市下坂本	円墳・5世紀・円筒・盾・馬	周濠内		
105	狐塚古墳	栗東町川辺・安養寺	前方後円墳・直径32m・5世紀・円筒・朝顔(衣笠形木製品)	周濠内		



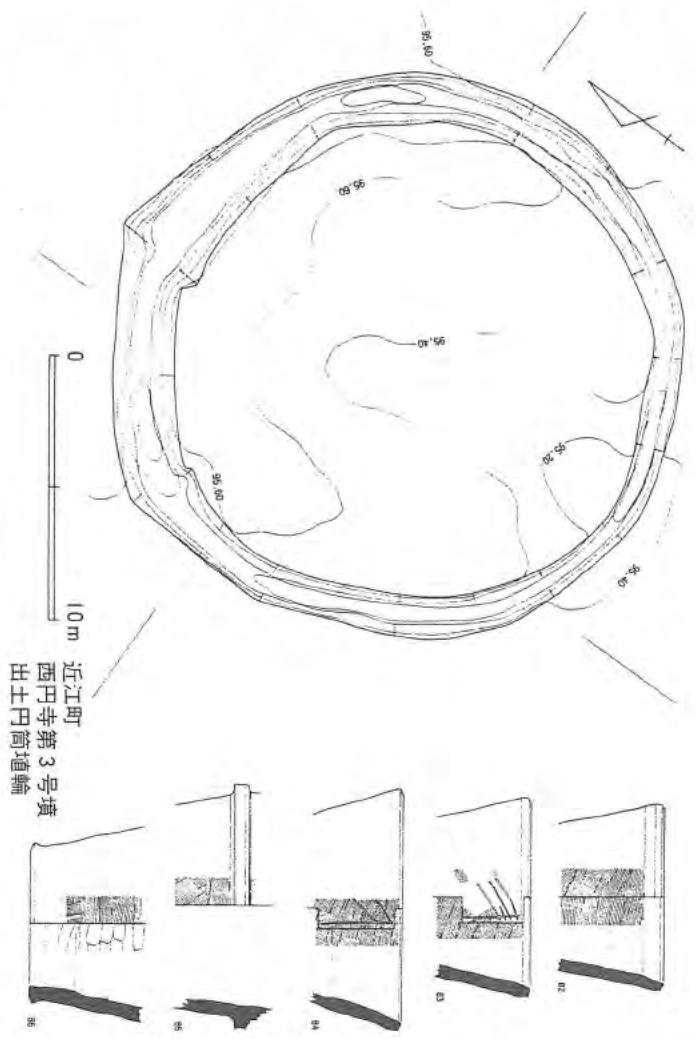
息長古墳群



第1図 息長古墳群近江町塚の越古墳平面図

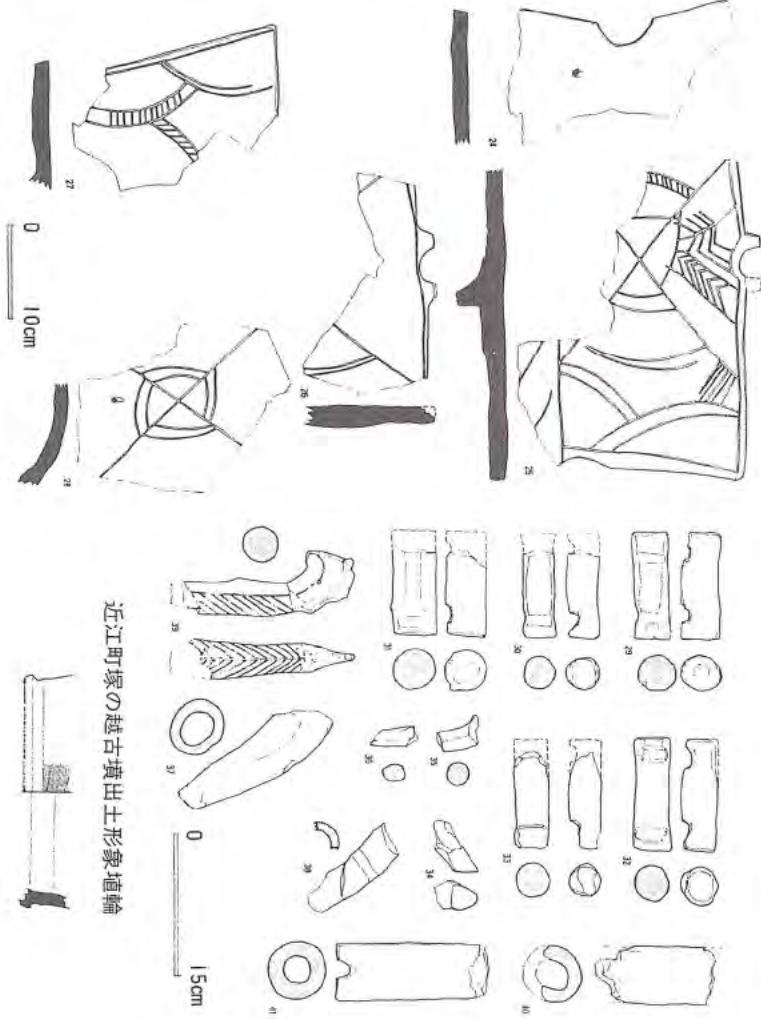


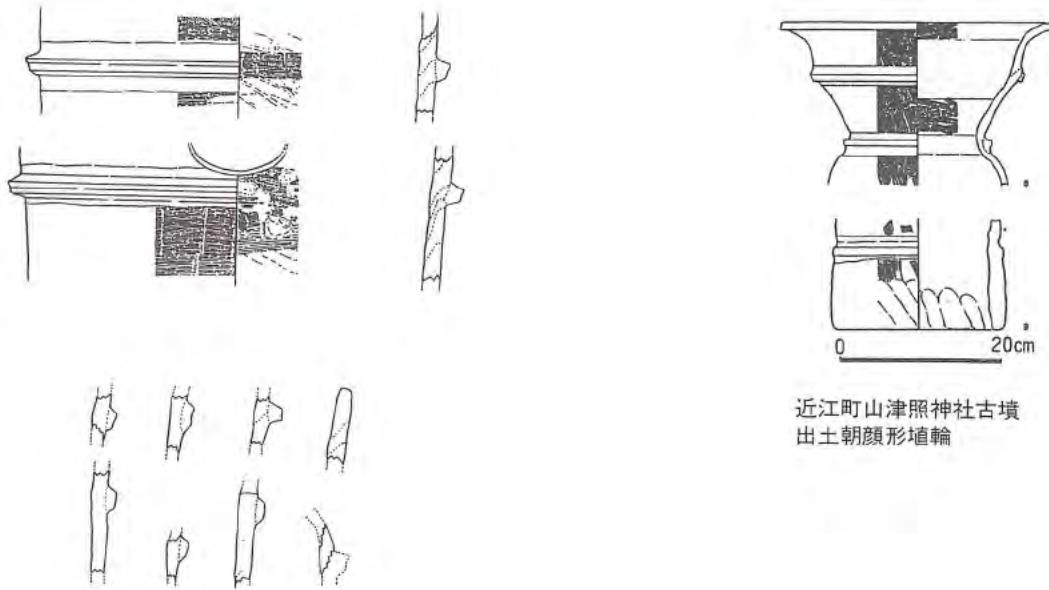
第2図 近江町塚の越古墳出土円筒埴輪



第3図 近江町塚の越古墳、顏戸砦1号墳、西円寺第3号墳出土埴輪

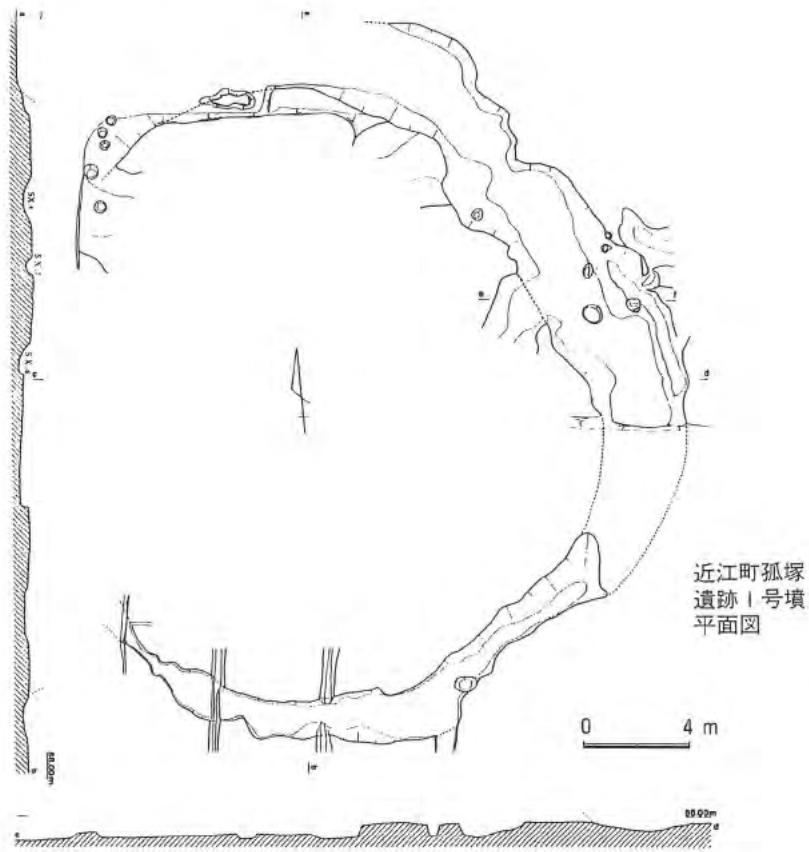
近江町塚の越古墳出土盾形埴輪



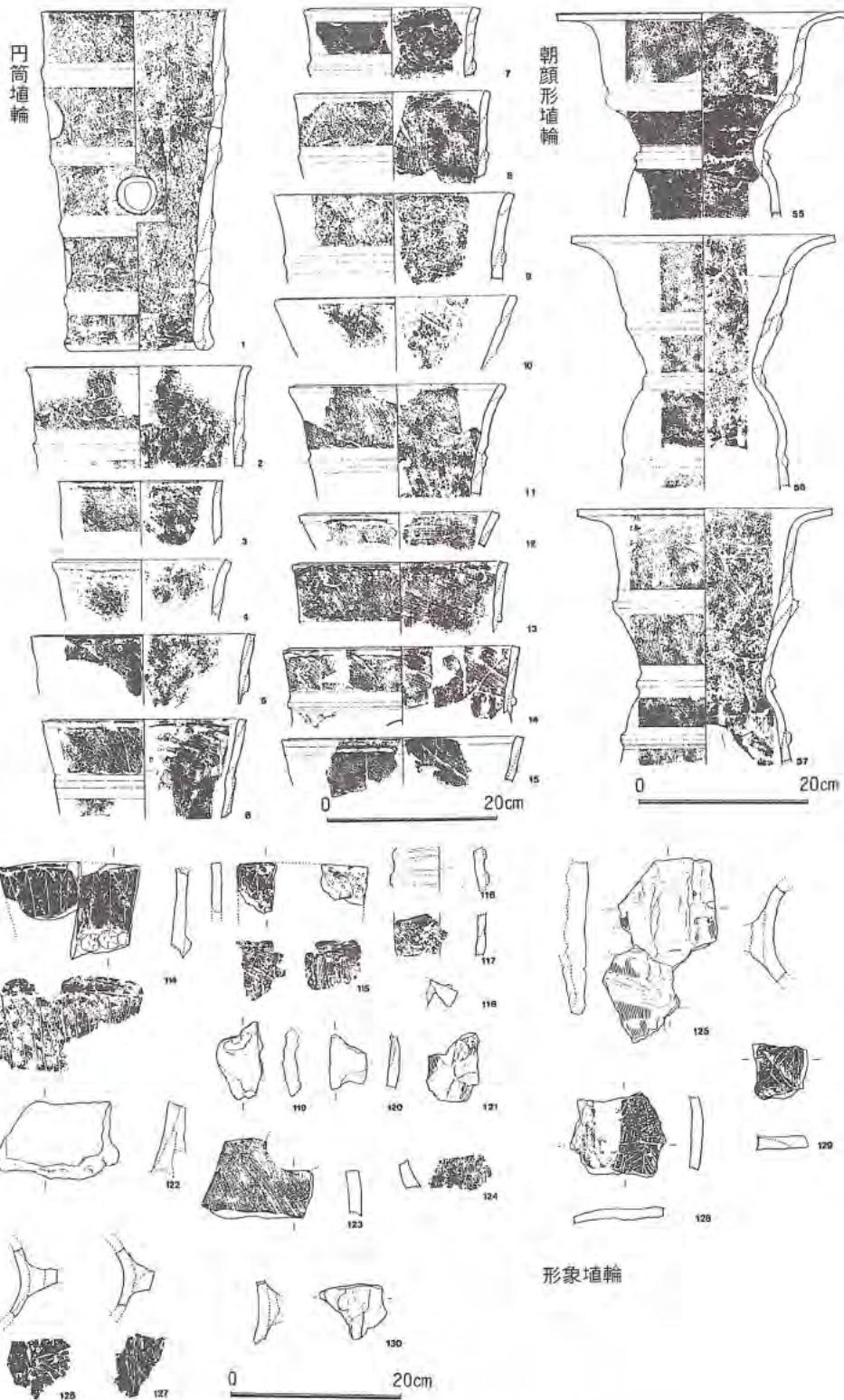


近江町山津照神社古墳
出土朝顔形埴輪

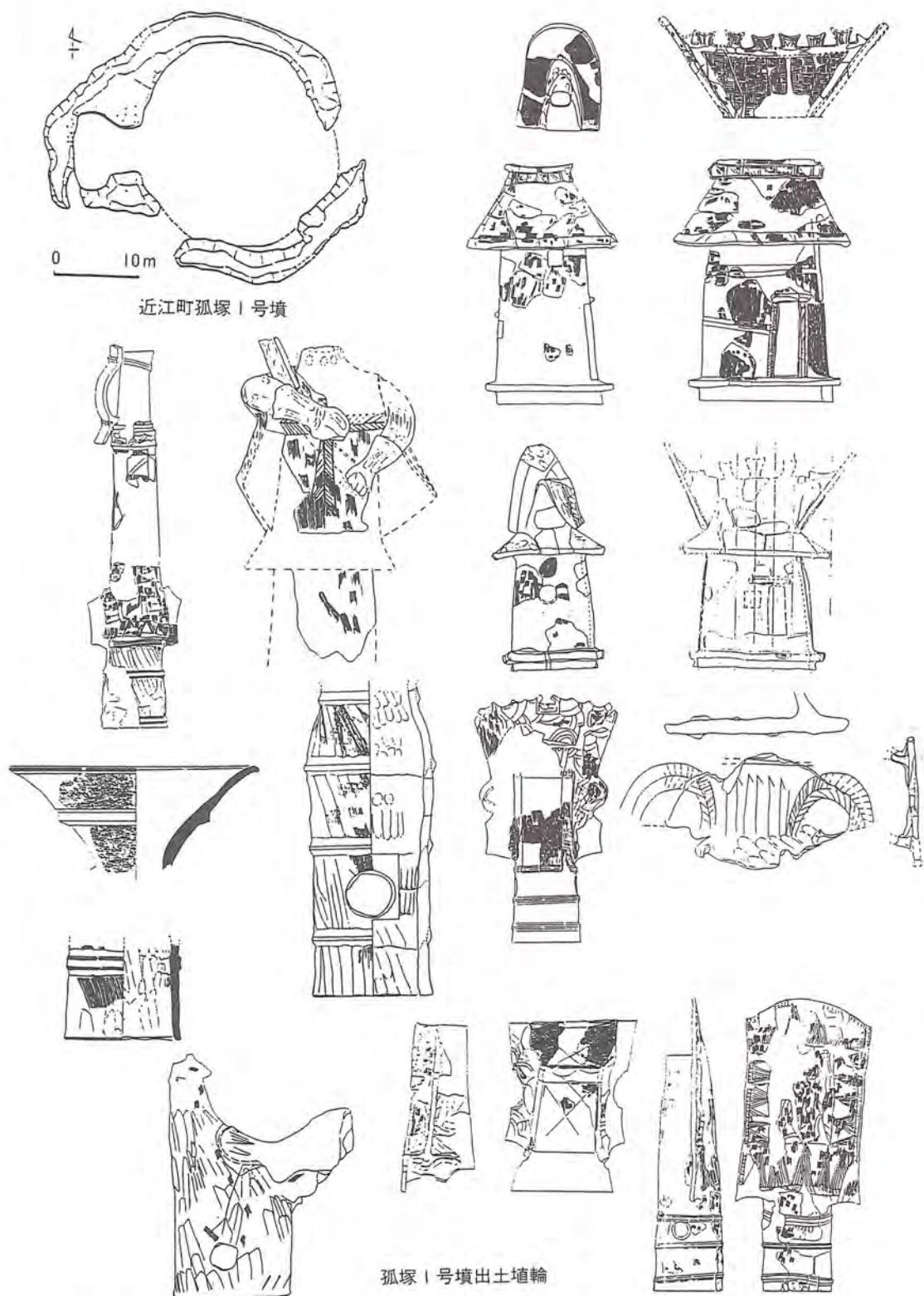
近江町村居田古墳出土円筒埴輪



第4図 近江町村居田古墳・山津照神社古墳・孤塚遺跡 1号墳(平面図)



第5図 近江町孤塚遺跡I号墳出土埴輪

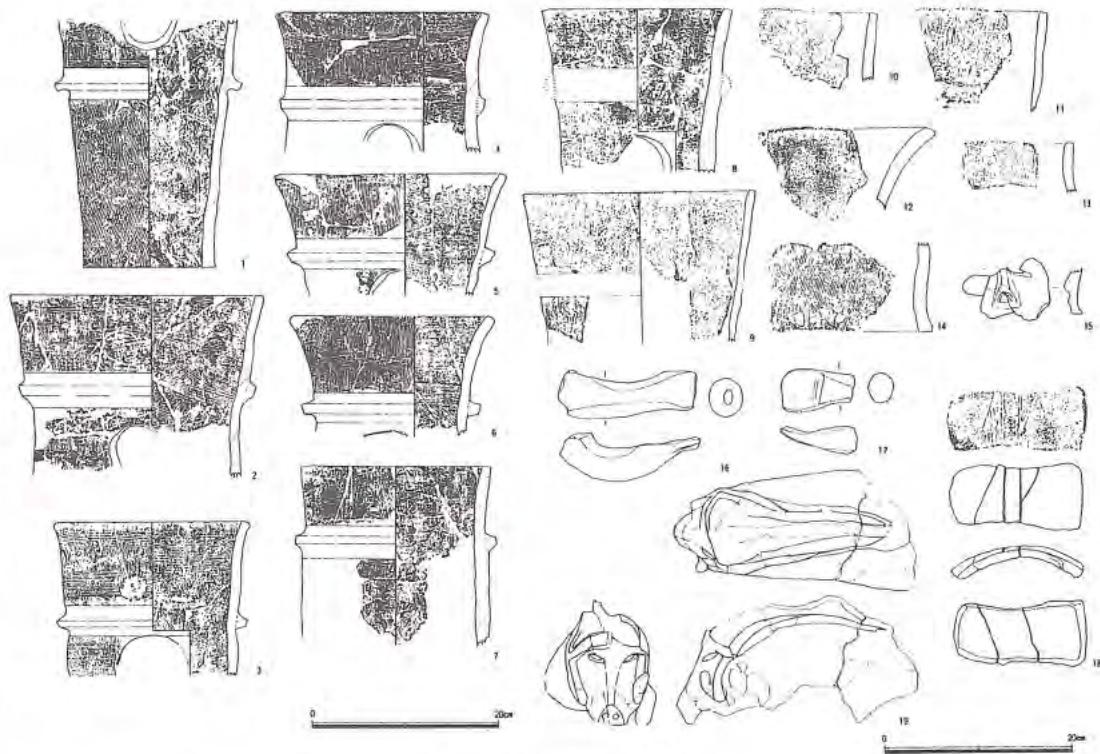


第6図 近江町孤塚 5号墳出土埴輪

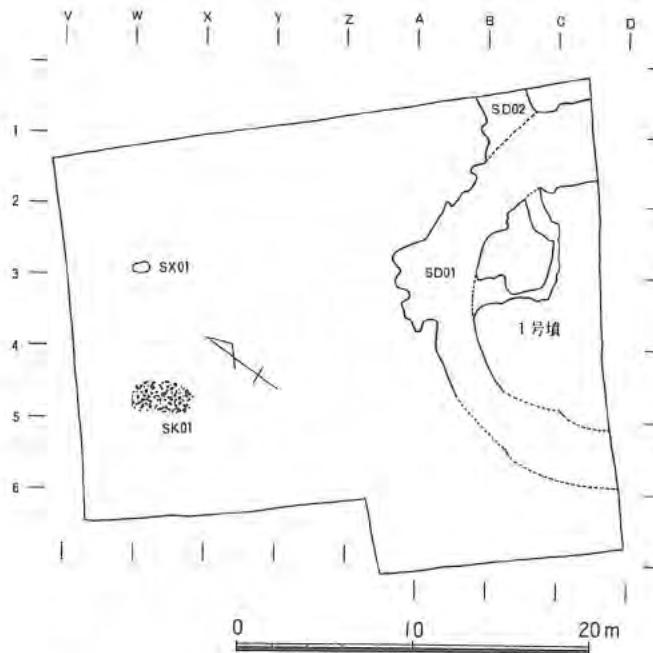


- A. 今回調査地 1. 朝妻港跡遺跡 2. 朝妻遺跡 3. 朝妻城跡 4. 法善寺遺跡 5. 今江寺遺跡
 6. 筑摩御厨跡遺跡 7. 筑摩湖岸遺跡 8. 入江小学校前湖岸遺跡 9. 磯湖底遺跡 10. 磯湖岸遺跡
 11. 磯崎古墳群 12. 磯山城遺跡 13. 磯山城跡 14. 堂谷遺跡 15. 袖塚遺跡 16. 虎ヶ城跡
 22. 入江内湖西野遺跡 24. 米原駅西遺跡 31. 米原駅前遺跡 32. 下定使遺跡 33. 中多良入江内湖周辺遺跡
 34. 中多良遺跡 35. 菩薩寺遺跡 36. 立花遺跡 37. 筑摩佃遺跡 38. 本願寺遺跡 39. 入江内湖遺跡
 (遺跡番号は米原町教育委員会刊行「米原町内遺跡分布調査報告書」1988と一致する。)

第7図 米原町大乾古墳群周辺遺跡

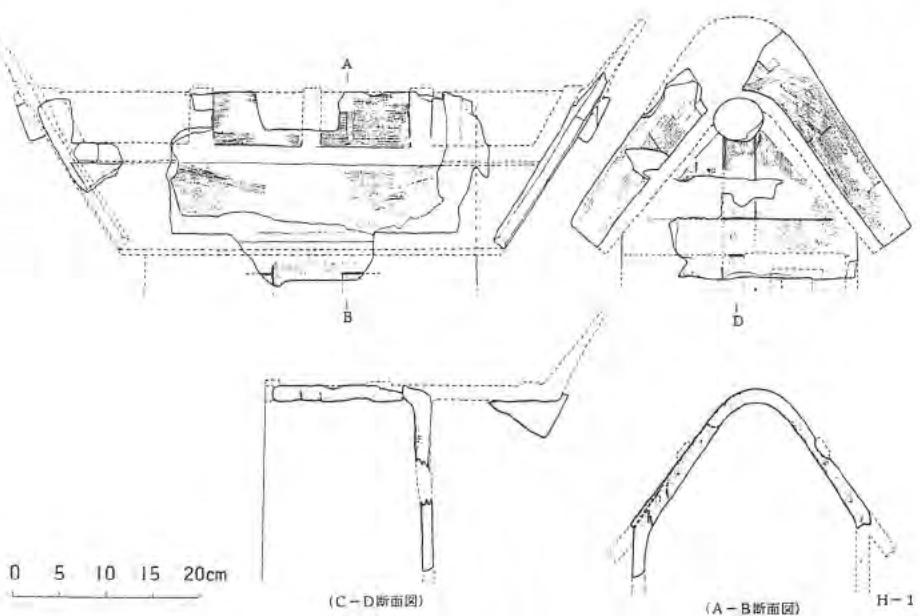
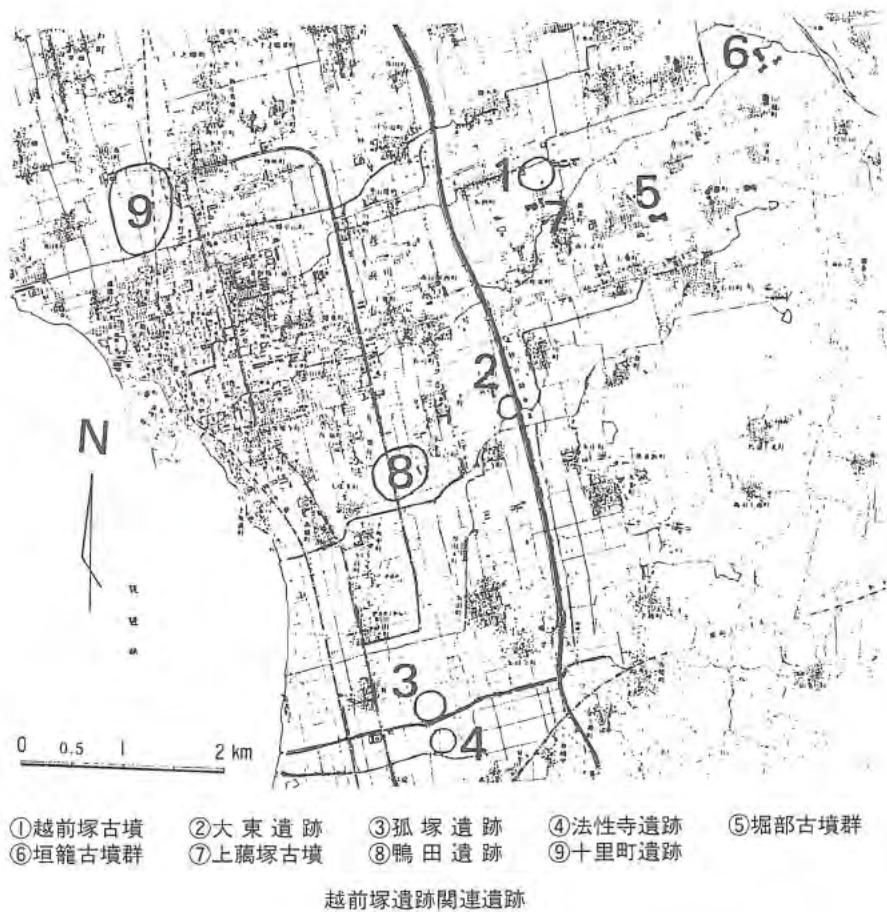


米原町大乾 1号墳出土埴輪

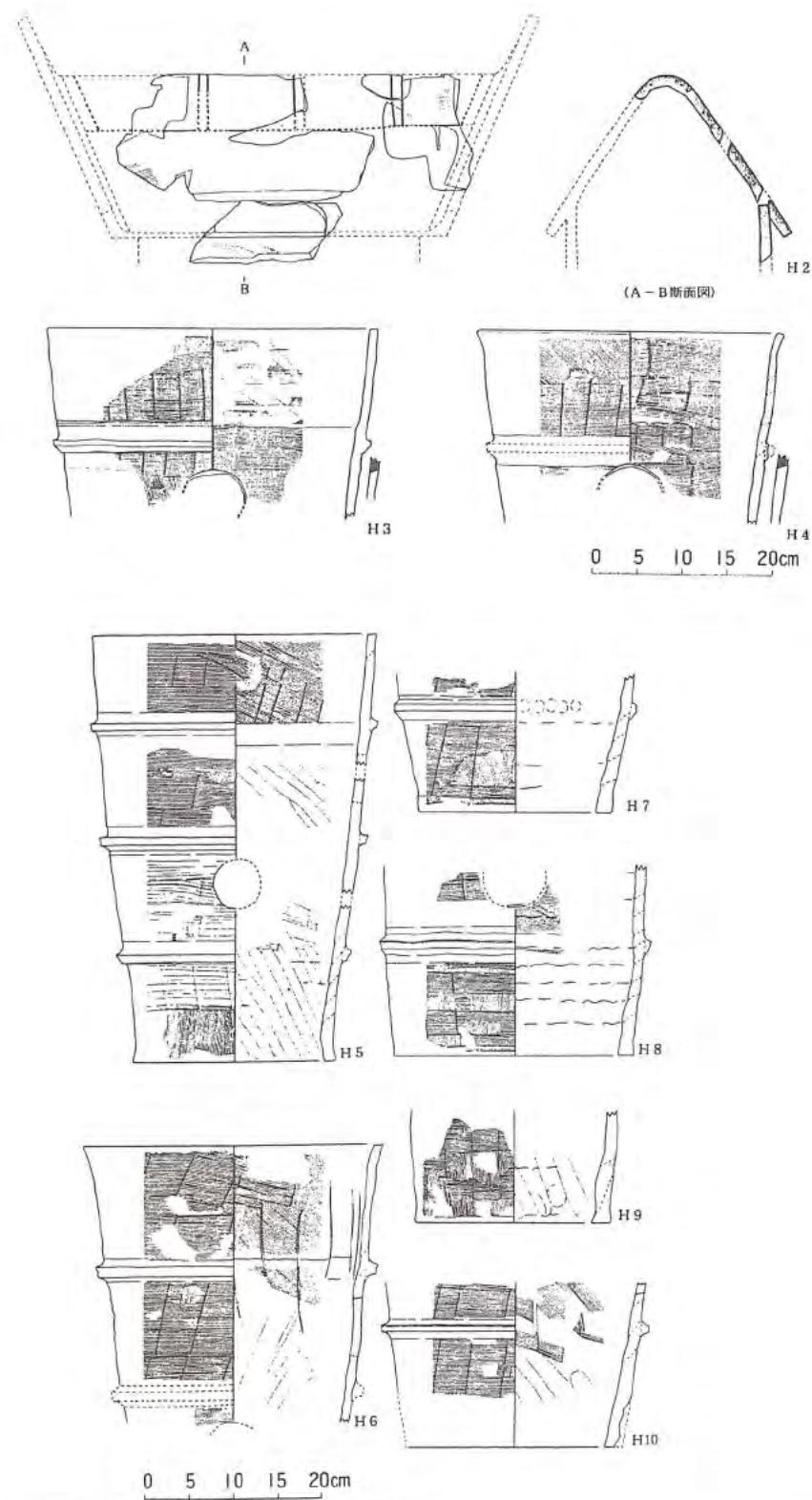


米原町大乾 1号墳出土平面図

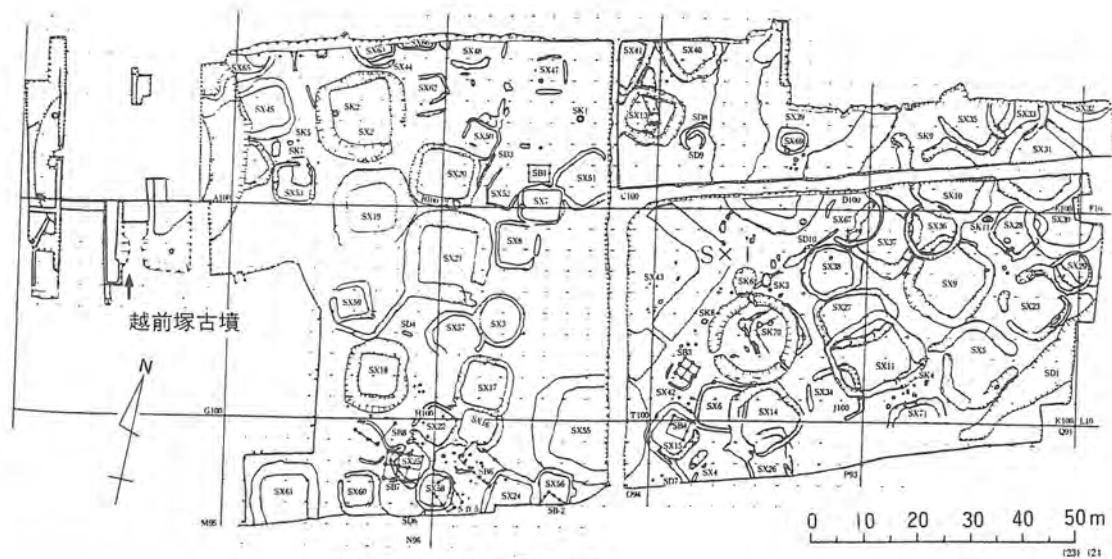
第8図 大乾 1号墳出土埴輪・平面実測図



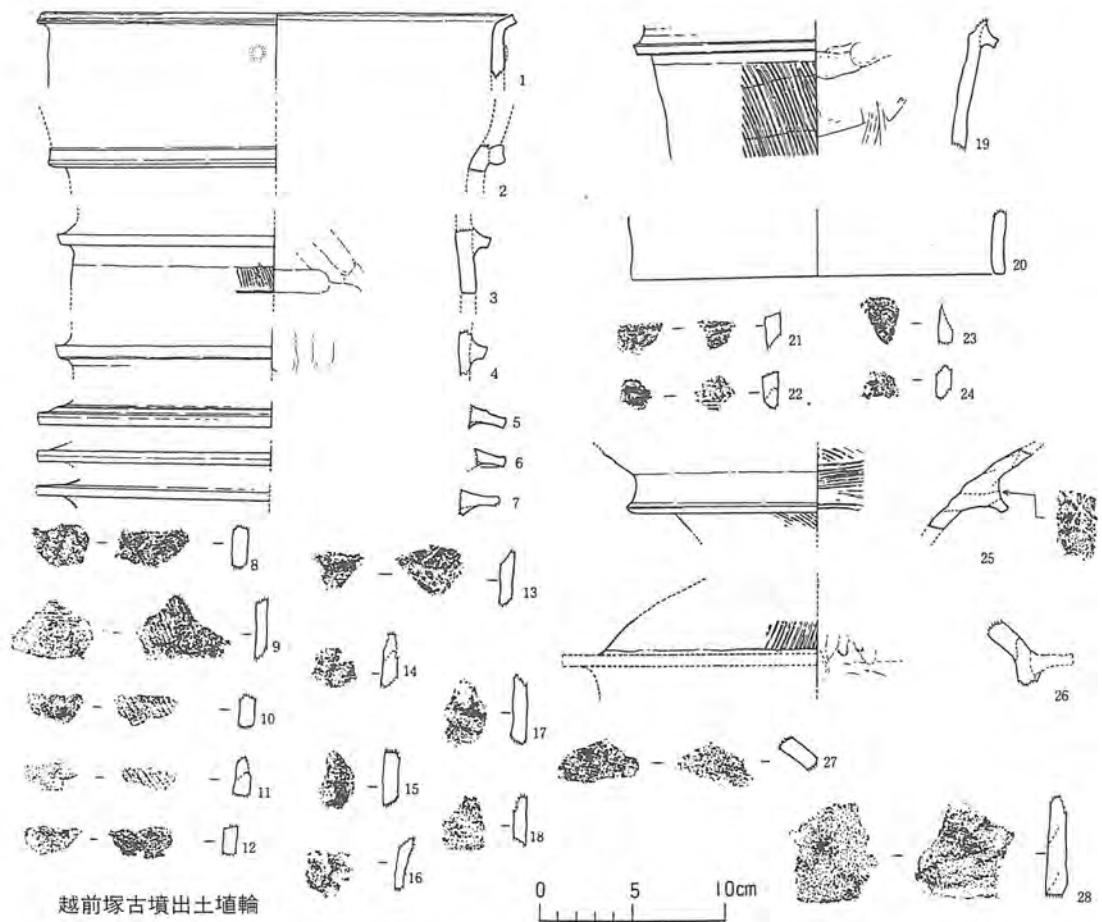
第9図 長浜市越前塚遺跡SX-1出土埴輪(1)



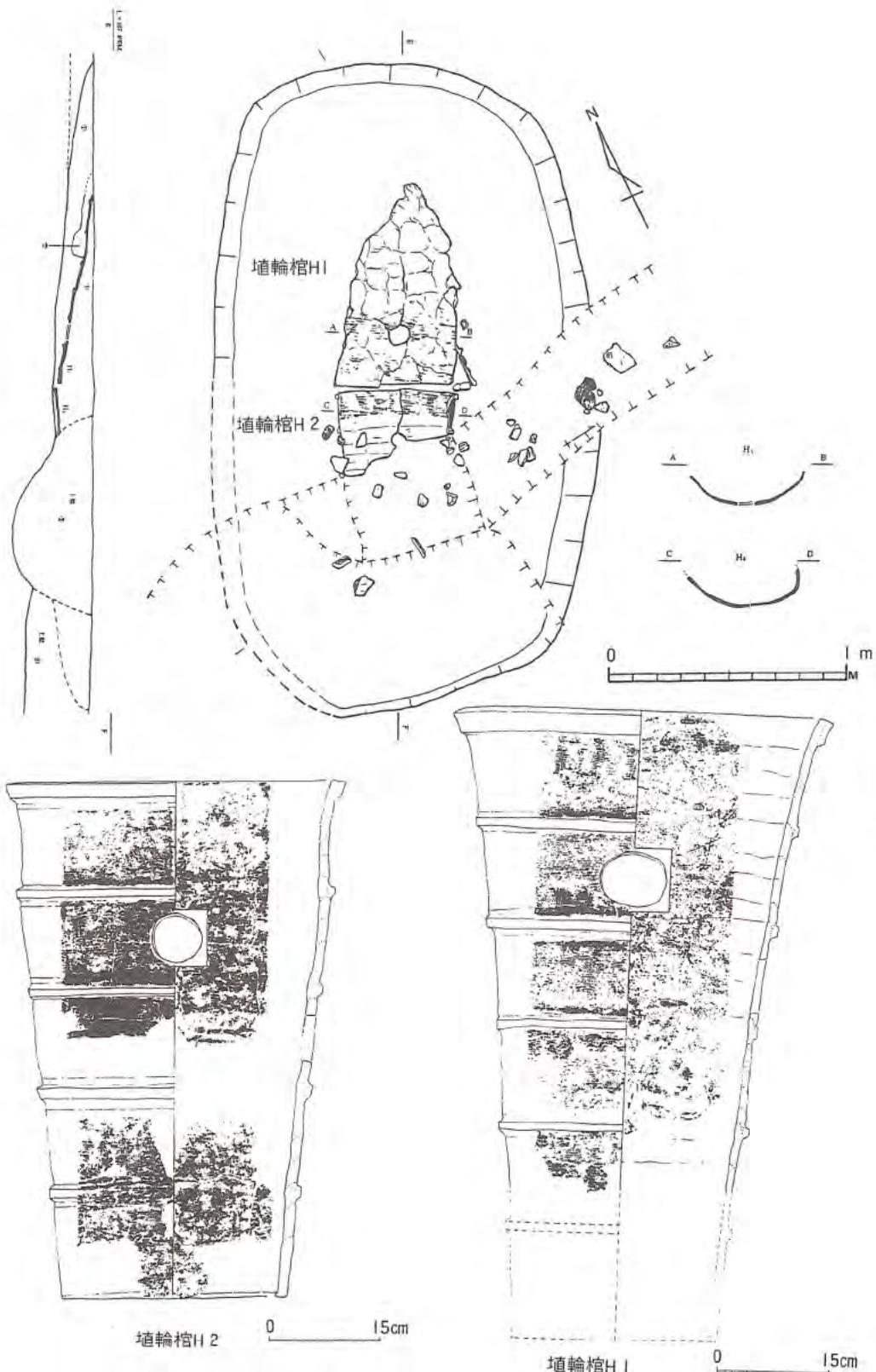
第10図 長浜市越前塚遺跡SX-1出土埴輪(2)



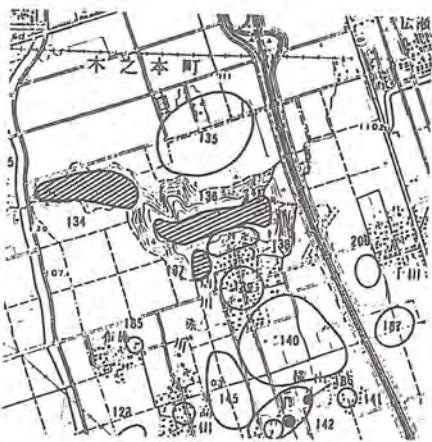
越前塚古墳・越前塚遺跡SX I



第11図 長浜市越前塚古墳・越前塚遺跡

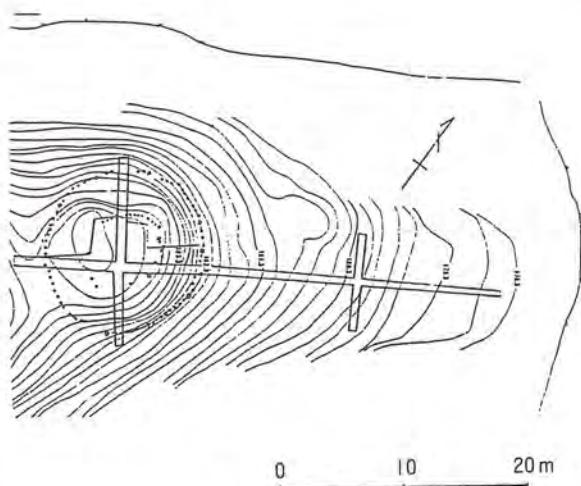


第12図 長浜市越前塚遺跡円筒埴輪棺



涌出山古墳周辺遺跡図

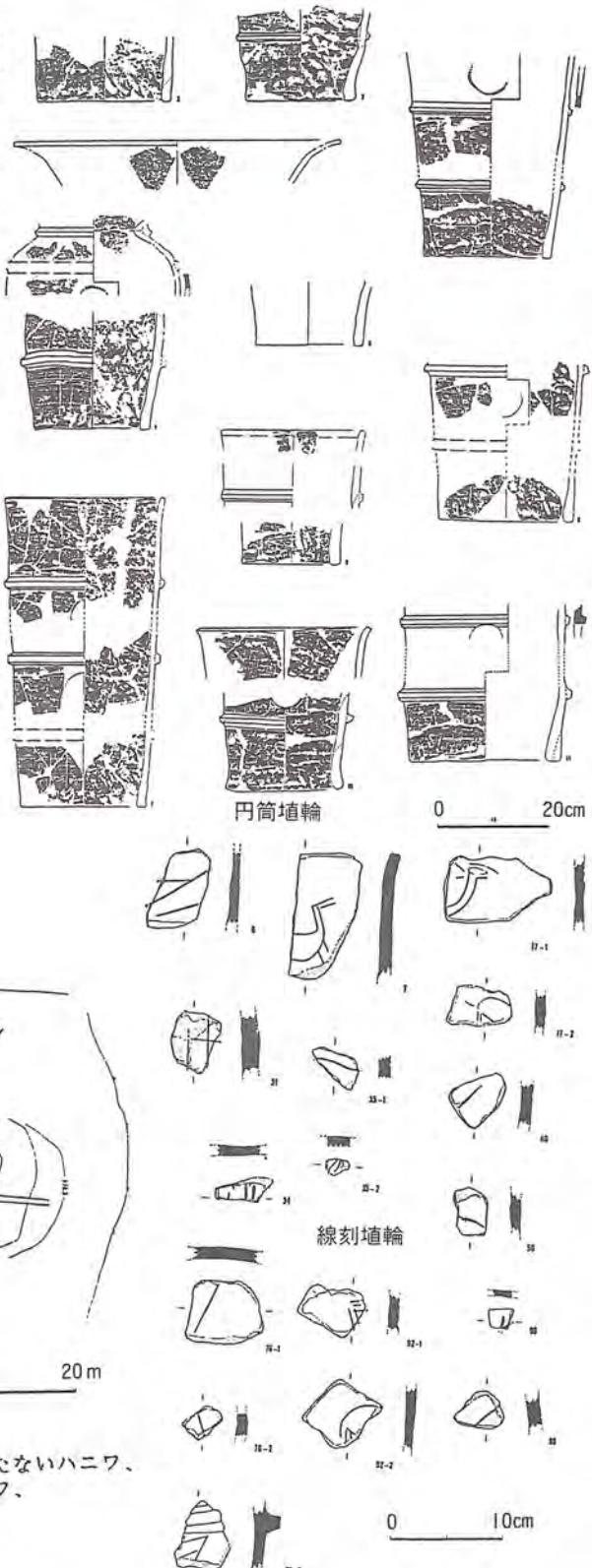
- | | |
|-------------|------------|
| 136 涌出山古墳群 | 141 横山城跡 |
| 134 大谷古墳群 | 142 横山遺跡 |
| 135 唐川北遺跡 | 145 唐川西遺跡 |
| 137 唐川宮山古墳群 | 185 布施遺跡 |
| 138 赤後寺遺跡 | 186 兵主神社古墳 |
| 139 唐川城跡 | 187 横山東遺跡 |
| 140 唐川遺跡 | 200 石作遺跡 |

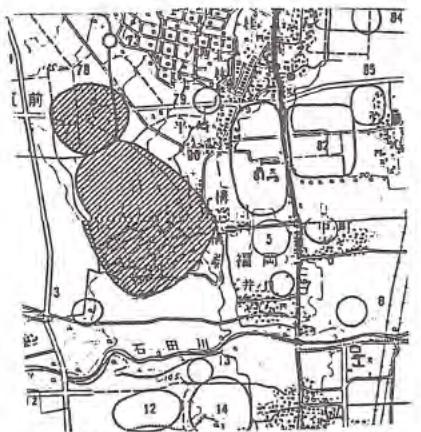


地形測量図

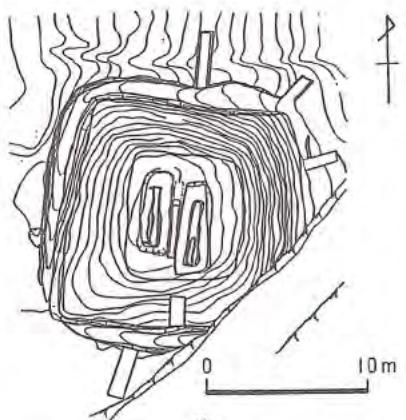
●；原位置を保つハニワ、○；原位置を保たないハニワ、
×；ハニワ採集地点、◎◎◎；朝顔形ハニワ、

第13図 高月町涌出山古墳

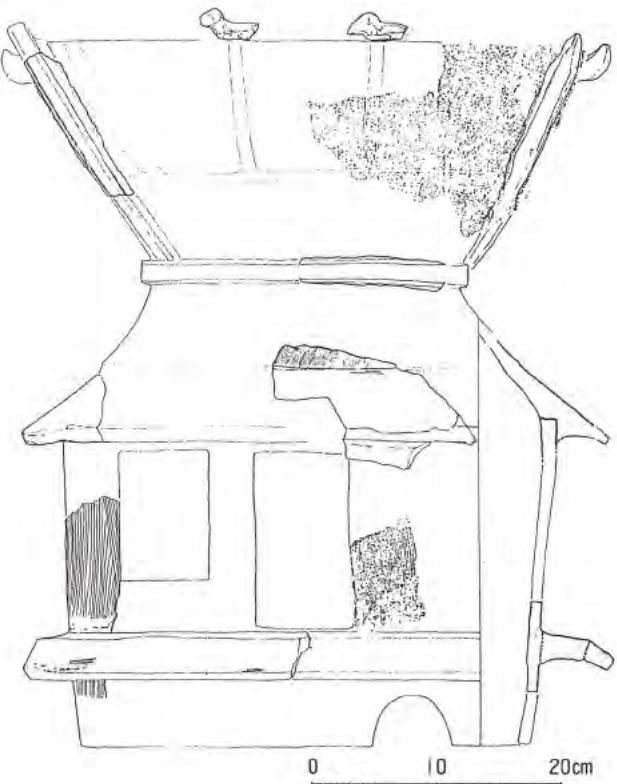




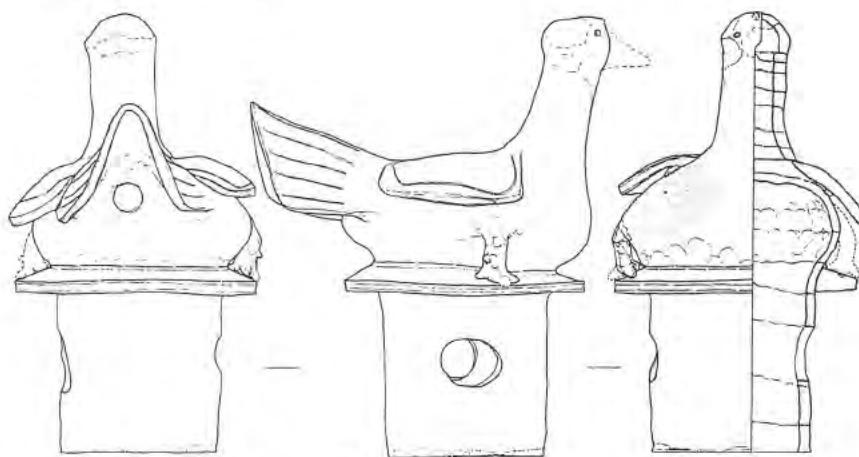
- | | | |
|------------|----------|------------|
| 4 妙見山古墳群 | 12 杉沢遺跡 | 81 構遺跡 |
| 3 心妙寺遺跡 | 13 高田館遺跡 | 82 平ノ前遺跡 |
| 5 コクリュウ寺遺跡 | 14 弘川池遺跡 | 84 北仰柱遺跡 |
| 6 中ノ町遺跡 | 73 経塚遺跡 | 85 北郁西海道遺跡 |
| 7 井ノ口遺跡 | 78 王塚古墳群 | |
| 8 井ノ口中川原遺跡 | 79 平ヶ崎遺跡 | |



妙見山古墳C-1号墳



妙見山古墳C-1号墳出土家形埴輪



妙見山古墳C-1号墳出土鳥形埴輪

第14図 今津町妙見山古墳



第15図 高島町音羽古墳群

編集後記

今年度は雨が多く冷夏であり、どの現場もいたずらに排水作業を繰り返し時間に追われて苦悩の日々を過されたことと思います。本紀要も、第7号を迎えるにあたり、本号には予想を越える14編の論考を掲載することができました。調査に追われながらも、日頃の各自の問題意識と研鑽の結果であるといえるでしょう。本号が「近江」や「文化財」への理解の一助となり、読者の方々からの御指導、御鞭撻が賜れれば幸いです。

